

# コジェネレーションシステム

## 要 旨

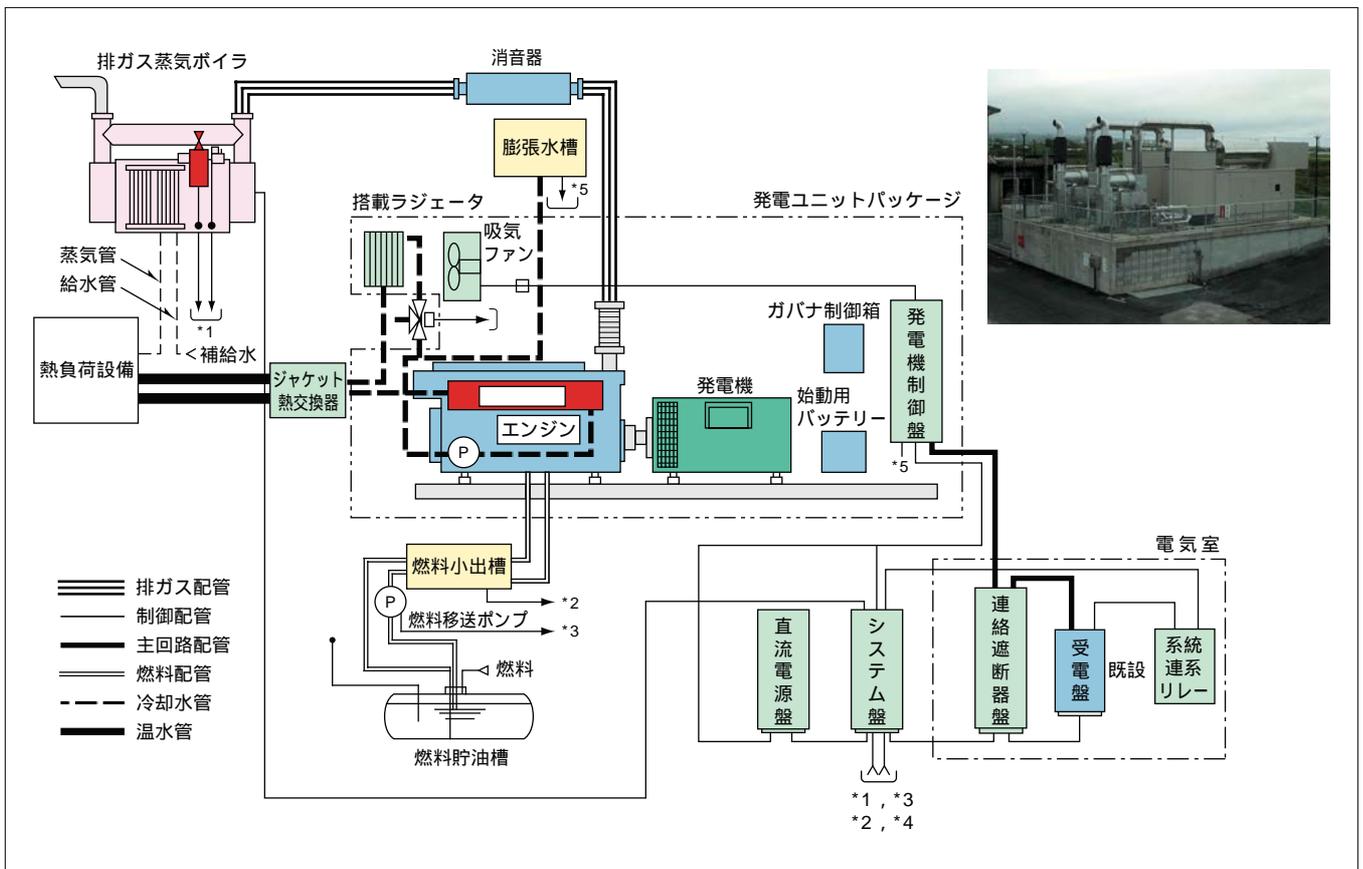
エネルギー分野において、2つの大きな流れが一段と加速している。

1つは地球環境保全に対する取り組みであり、もう1つは自由化の進展である。今や各企業、団体などにおける省エネルギー、殊にCO<sub>2</sub>排出削減に向けた動きは、日に日に注力度合いが増してきている。さらに、電力とガスで進行中の段階的自由化は、環境保全への動きとあいまって、その目標年度に向けた市場の流れを加速している。

これらの流れから生じる時代の要請に対し、三菱電機は、コジェネレーションシステム(CGS)を主体とした熱電供給システムやその熱源を利用するシステムを主体に、エネル

ギーに関するトータルエンジニアリングにより、工場やビルなどの省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減に向けてエネルギーソリューションサービス(ESS)事業で正面から取り組んでいる。この取り組みに伴い、ESS事業に本格的に参画した2001年から当社が納入したCGSの台数は年々増加しており、今後ますます、ESS事業の拡大に期待が寄せられている。

このような状況の中、本稿では、当社が展開しているESS事業内容の紹介と導入事例、CGSの原動機別特徴と標準パッケージの紹介、及び燃料の供給を含めた保守・点検サービスについて述べる。



## コジェネレーションシステム(CGS)の導入例

熱回収として排ガス蒸気ボイラで蒸気回収するCGSの構成例と現地写真である。24時間遠隔監視センターで運転状態を監視し、日報・月報・年報などの自動作成等を行う。また、異常発生時のフィールドエンジニア即応体制とリンクしている。